

○十一面觀世音菩薩立像 木造一軀 道明寺寄託

○如意輪觀世音菩薩像 木造一軀 觀心寺寄託

○釋迦如來坐像 木造一軀 法隆寺寄託

○五智如來坐像 木造五軀 大日寺寄託

○清淨比丘像 木造一軀 金剛峯寺寄託

○制多伽童子像 木造一軀 同寺寄託

○地藏菩薩立像 木造一軀 秋篠寺寄託

金工品も亦常設陳列品であるが繁を厭うて品目を掲げない。唯その大體を云へば男爵住友家藏陳氏十鐘以下の支那古銅器より和漢の諸鏡鑑七十餘面、次いで金剛寺藏錢弘似舍利塔、譽田神社神輿（國寶）、諏訪神社藏賣神祝印（國寶）、阿彌陀寺藏東大寺鐵印（國寶）等以下、懸佛、諸佛具に及んでゐる。陶瓷器も亦約半數が常陳せられるらしく三彩より近代の諸窯に至るまで廣くその種類を求めたもの、考古品は凡て帝室博物館の出品に係る玉、鏡、埴輪、石器、土器の類である。

凡てこの廣汎な範圍に互つて常陳品を選び蒐める努力さへあるに、加へて特別陳列の爲によくこの多數を求められた館員諸氏の勞苦は察するに餘りあるものがあらう。今やその成果としてかく華々しき開館を見た事を祝福すると共に、斯界の爲に愈その努力を惜まれざらん事を切望し度い。（渡邊）

## 美術研究所時報

美術懇話會は九月廿六日美術研究所に於て開催、故加納夏雄翁舊藏にして現在東京美術學校に收藏せられる足利より明治に至る各時代の製作にかゝる目貫、小柄、縁頭、笄等の装剣具約百點を展觀し、同校教授海野清氏の講話を聞いた。

## 寄贈圖書

醫家先哲肖像集 藤浪剛一著

國寶略説 昭和十一年度

重要美術品等認定物件目録第一輯

土佐文書解説 木村德衛編

波斯敦日本古美術展覽會出品圖録

國史教育の改善 中村孝也述 啓明會紀要第二十號

日本の現勢 青木利三郎編述 啓明會紀要第二十一號

學裔學志 一ノ二

日本建築士 九

思想 一七二

汎工藝 一四ノ八

國際建築 一二ノ九

新建築 一二ノ九

塔影 一二ノ九

建築雜誌 六一六

The British Museum Quarterly, Vol. X, No. 4

Museum, Juillet, Aout

Honolulu Academy of Arts, Vol. 4, Bulletin 3

The Museum of Far Eastern Antiquities, Bulletin No. 7, 8

藤浪剛一氏

文部省宗教局

同

木村德衛氏

富田幸次郎氏

啓明會

同

史迹と美術 七〇

建築研究 八ノ九

南畫鑑賞 五ノ九

圖畫と手工 二〇八

工藝ニエース 五ノ九

建築世界 三〇ノ九

東陽 一ノ六

みづゑ 三八〇